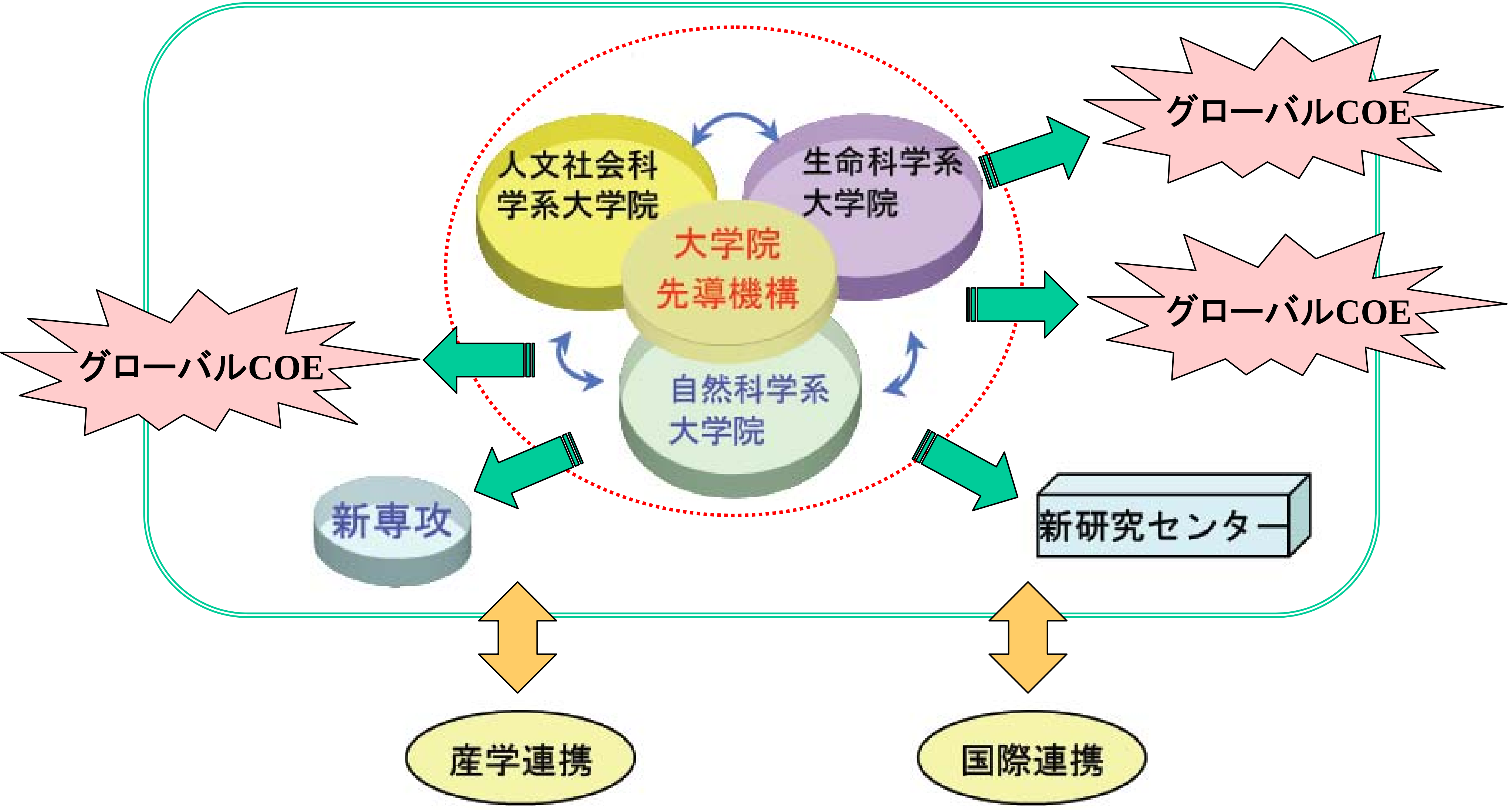
Kumamoto University

挑戦的若手研究者の
自立支援人事制度改革

国立大学法人熊本大学
理事・副学長
阪口　薫雄

熊本大学を牽引する大学院先導機構

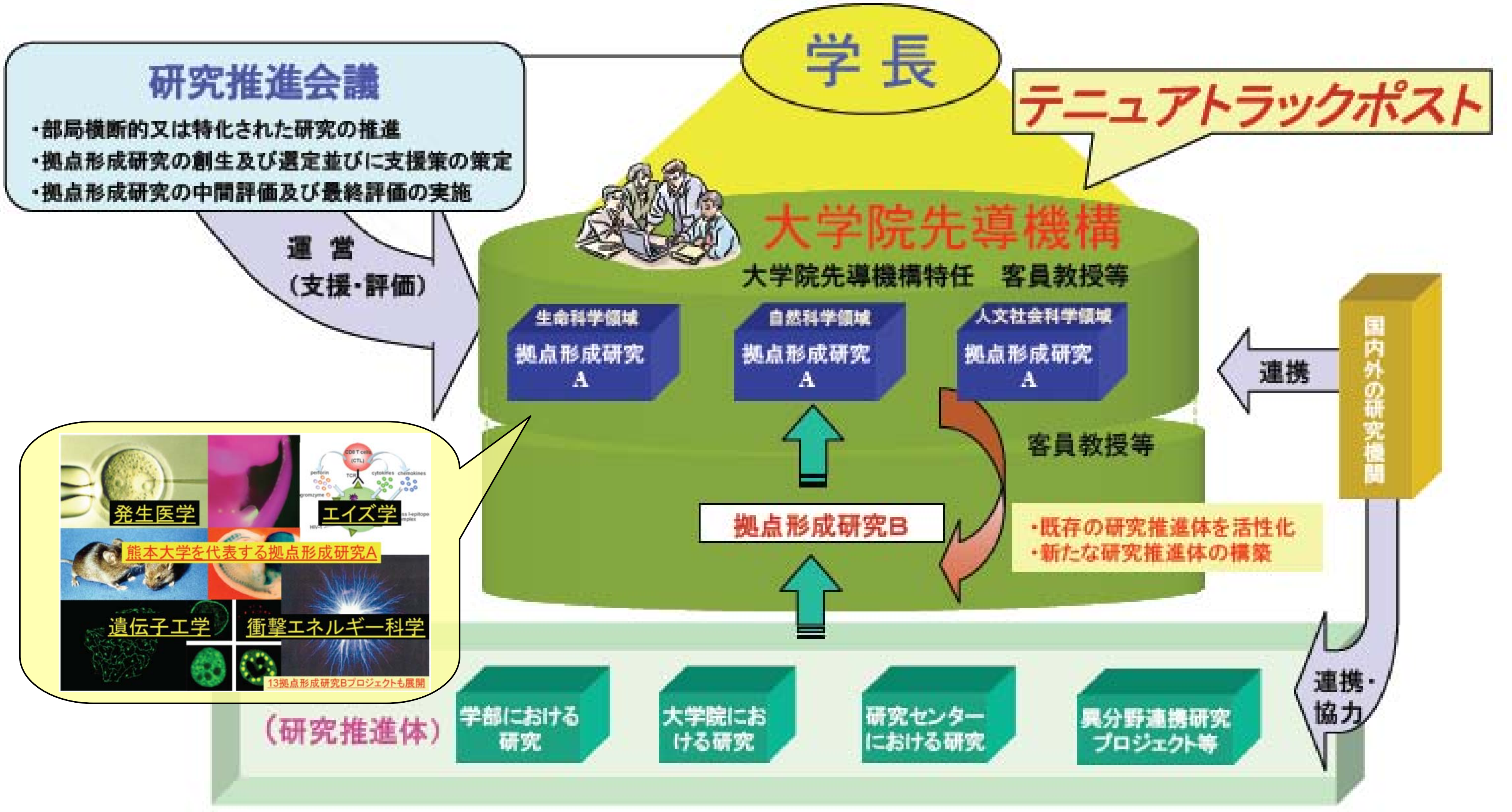


Kumamoto University

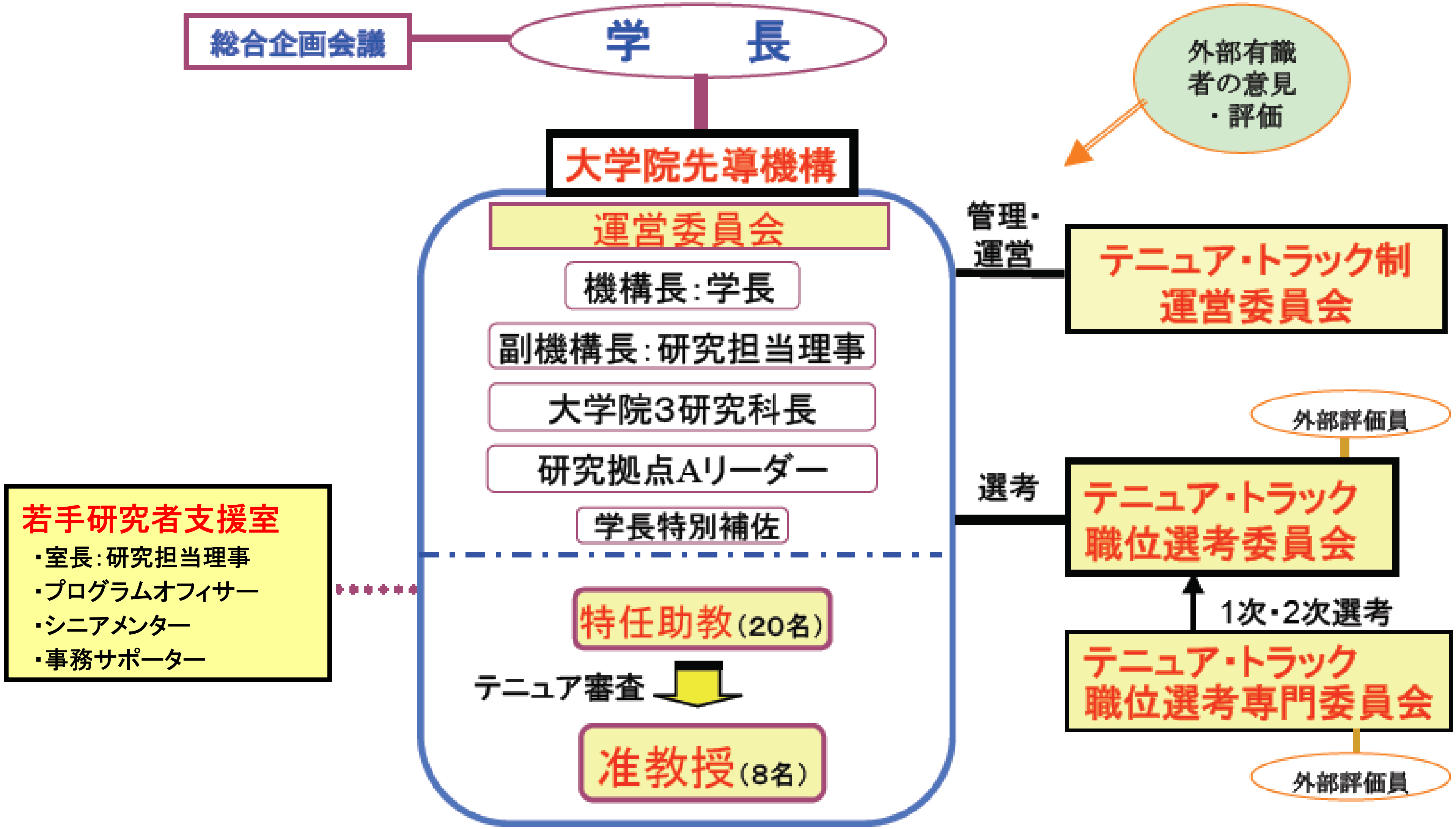
挑戦的若手研究者の自立支援

人事制度改革

大学院先導機構（本事業拠点）



実施体制


総合企画会議
学　長
外部有識者の意見・評価
大学院先導機構
運営委員会
機構長：学長
副機構長：研究担当理事
大学院3研究科長
研究拠点Aリーダー
学長特別補佐
特任助教(20名)
テニュア審査
准教授(8名)
若手研究者支援室
・室長：研究担当理事
・プログラムオフィサー
・シニアメンター
・事務サポーター
管理・運営
テニュア・トラック制運営委員会
選考
外部評価員
テニュア・トラック職位選考委員会
1次・2次選考
テニュア・トラック職位選考専門委員会
外部評価員

支援内容

独立的研究スペースの支援

特定事業教員（特任助教）

従来の所属研究室とは独立して、
自主的な研究者として研究活動を行う

研究費の支援

- 着任時：スタートアップ経費　500万円
- 毎年度：基盤的研究経費　　200万円

その他の支援

- シニアメンター：関連分野の教員がサポート
- 研究補助者：総数10名の範囲内で雇用

Kumamoto University

実施スケジュール概要

初年度

若手人材育成拠点の設置
・10名の国際公募

3年目

中間評価
・新たに10名の国際公募（予定）
・公開シンポジウムの開催（業績評価）
・評価基準と指導体制の確立
・多様なキャリア形成の支援体制の構築

5年目

初年度採用テニュア・トラック教員の最終評価及び制度評価

6年目

学長裁量ポスト
大学院先導機構特任准教授
初年度採用の10名より4名程度を選出

終了後

大学院先導機構における事業の継続

全学的人事制度改革への発展的継承

テニュア教員のキャリアアップ支援

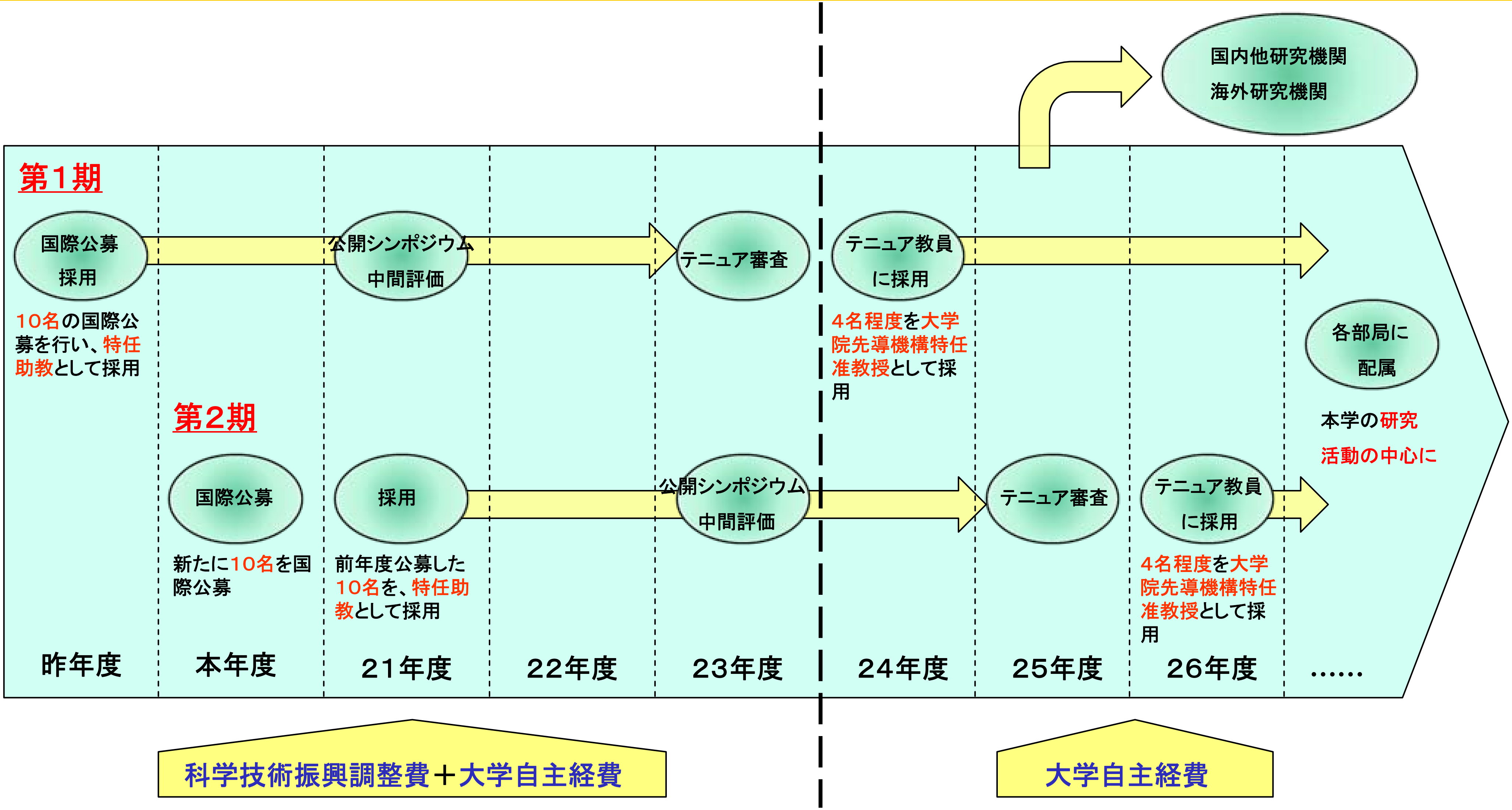
学内研究教育組織
・本学の研究活動の中心に
・学部教育へ還元

他国内研究教育機関

海外研究機関

Kumamoto University

実施スケジュール詳細



Kumamoto University

平成19年度実施状況

□公募分野

自然科学系：4分野 （衝撃エネルギー科学、ナノ材料科学、マグネシウム合金、生命環境）

生命科学系：6分野

（代謝病態学、免疫学、創薬科学、発生再生医学、生殖医学・発生工学、エイズ研究）

□公募～選考の流れ

７月上旬	公募分野決定（テニュア・トラック運営委員会）
７月下旬	HPで公募開始
８月	専門誌（Nature、Science）で公募
９月上旬	公募締切
９月中旬～下旬	１次審査 （書面審査、テニュア・トラック職位選考専門委員会）
１０月中旬～下旬	２次審査 （面接審査、テニュア・トラック職位選考専門委員会）
１０月下旬	最終審査、決定（テニュア・トラック職位選考委員会）
１２月～翌年２月	順次着任

□応募状況

応募数：１８４件

内　外国籍の方の応募　　　：４５件

　　女性研究者の方の応募：１３件

　　海外からの応募　　　　：６２件

平成19年度採用者一覧

研究者氏名	職名	研究分野	研究課題名	シニアメンター（所属・氏名）
王　斗艶	特定事業教員（特任助教）	衝撃エネルギー科学分野	サブナノ秒パルスパワーの生成およびその環境・バイオへの応用	大学院自然科学研究科（工）秋山　秀典　教授
吉本　惣一郎	特定事業教員（特任助教）	ナノ材料科学分野	ボトムアップ手法を用いた超分子ナノ界面構築と機能制御	大学院自然科学研究科（工）國武　雅司　教授
眞山　剛	特定事業教員（特任助教）	マグネシウム合金分野	メゾスケール挙動を考慮したマグネシウム合金の力学モデリングとその応用	大学院自然科学研究科（工）河村　能人　教授
中山　由紀	特定事業教員（特任助教）	生命環境分野	精子形成過程への内分泌かく乱物質の曝露により発現変動する遺伝子の網羅的解析	大学院自然科学研究科（理）安部　眞一　教授
藤田　雅紀	特定事業教員（特任助教）	創薬科学分野	メタゲノム的手法を用いた生理活性海洋天然物の生合成遺伝子取得とその利用	大学院医学薬学研究部（薬）大塚　雅巳　教授
林　秀樹	特定事業教員（特任助教）	代謝病態学分野	眼疾患における視神経とグリア細胞の機能変化	大学院医学薬学研究部（医）竹屋　元裕　教授
真崎　雄一	特定事業教員（特任助教）	免疫学分野	好中球における細胞運動機構の解析	大学院医学薬学研究部（医）西村　泰治　教授
大村谷　昌樹	特定事業教員（特任助教）	生殖医学・発生工学分野	主題1）膵臓腺房細胞におけるオートファジーの制御機構 主題2）遺伝子膵炎モデルマウスの樹立、および遺伝性膵炎（慢性膵炎）からの膵発癌機構の解明	生命資源研究・支援センター　浦野　徹　教授
桑田　岳夫	特定事業教員（特任助教）	エイズ研究及びその関連分野	AIDS発症過程における抗リンパ球自己抗体の役割の解析	エイズ学研究センター　滝口　雅文　教授
石原　宏	特定事業教員（特任助教）	発生再生医学分野	発生・再生現象におけるクロマチンインスレーターによる遺伝子クラスター制御機構	発生医学研究センター　中尾　光善　教授

平成20年度計画

□中間評価基準の策定・提示

次年度に実施する若手研究者の中間評価に向けた評価基準の策定を行い、若手研究者への評価基準の提示を行う。

□平成21年度採用に向けた公募・選考

新たな若手研究者10名の次年度採用に向け、公募・選考を行う。

公募

公募分野（10分野予定）の決定後、HP・専門誌（Nature、Science）等で国際公募を行う。

↓

選考

書面審査による1次審査、面接審査による2次審査を経て、テニュア・トラック職位選考委員会により、採用者を最終決定する。

↓

平成21年4月着任

期待される波及効果

熊本大学

波及

<u>本事業</u>

挑戦的若手研究者の
自立支援人事制度改革

・自立性をもった若手研究者育成
・機関・組織全体の人事制度改革
・若手研究者の流動化・活性化
・組織の活性化

我が国の科学技術の振興に